

ACANTHUS



特集

地域とつながる徳島文理大学

Index

学長挨拶	2	【連載】研究室への誘い 理工学部機械創造工学科	12
2017年度 卒業式	3	アカサス会だより	14
【特集】地域とつながる徳島文理大学	4	2018年度 保護者会	18
これからの新卒採用と本学の就職支援	8	2017年度 退職者一覧	18
教員・保育士等採用試験結果報告	10	村崎学園紹介	19





少子化時代 —多様な人材育成の役割を果たす—



学長 田村 禎通

2018(平成30)年4月1日付けで、桐野 豊先生の後任として学長に就任いたしました田村禎通です。私は徳島市南佐古の生まれで、徳島大学を卒業後、徳島大学附属酵素研究施設で5年間、内科教室で13年間勤務した後、国立療養所東徳島病院で4年間、国立善通寺病院で19年間、内科臨床・研究に携わってきました。大学時代と酵素研究施設では、主として蛋白分解酵素の研究に従事しました。当時、藤井節郎教授とメーカーが共同開発した蛋

白分解酵素阻害薬であるFOYやフォイパンが、30年以上経過した現在も肺炎等の薬剤として臨床で使用されていることに、研究に関わった一人として大変うれしく思っております。内科教室および病院においては循環器臨床を中心に、刺激伝導系、動脈硬化と線溶系、心血管発症の危険因子などの研究を行いました。

国立善通寺病院を退職した2012(平成24)年4月、徳島文理大学保健福祉学部の学部長として迎えていただき、教育に携わってきました。

私立大学は長い歴史の中で、それぞれ確固たる「建学の精神」に基づいて教育・研究に邁進し、社会に貢献してきました。本学は「自立協同」を建学精神としております。その精神は個人個人が自立して生き抜く力の力を教授し、かつ他者を思いやるこころを養って、協同してより良い社会を築くことに貢献できる人材の育成にあると考えます。

時代は急速な勢いで少子高齢化が進んでいます。特に地方は少子化の進行が顕著であり、若者の大都市志向が加

わって地方の大学の志願者減少につながっています。本学も例外ではなく、少子化社会の中で、いかに存在感を発揮し、多様な人材を育成するための役割をどのように果たしていくかが問われることになると考えます。少子化時代においても選ばれる大学となるためのさらなる改革をめざす所存です。

本学は、地域連携センター、公開講座、学内外の音楽家による演奏会、イルミネーション等、地域に根ざした活動を行い、地域の人々に親しまれ、愛される大学をめざしてきました。また、学生自主防災クラブの活動が地域から評価され、相互理解を深めることに貢献しております。今後とも地域に根ざした大学をめざし、地域の皆さまの期待に応えていく所存です。

徳島文理大学は、医療系・文系・理系の学部を併せ持ち、さらに短期大学部を有する総合大学であります。学部の壁を越えた研究教育活動を展開し、文理融合の幅広い知識を有する人材養成をめざします。皆さまのご要望を遠慮なくお寄せいただけますよう、お願い申し上げます。

2017年度 卒業式

2018(平成30)年3月15日(休)に徳島キャンパス総合体育館で、3月17日(休)に香川キャンパス村崎サイメモリアルホールで2017(平成29)年度卒業式が執り行われ、1,025人が希望を胸にキャンパスを巣立ちました。

華やかで静粛な雰囲気の中、桐野学長が大学院・専攻科・大学学部・短期大学部の代表者にそれぞれ学位記・修了証書・卒業証書を授与し、「『自立協同』を実践し、自分の頭で考え続ける自立した人間、視野の広い良き市民へと成長してほしい」と式辞を述べました。村崎理事長は挨拶の中で「卒業生の活躍が本学を照らし、本学の活躍が卒業生を照らす照らし合いを大事にしてほしい」と卒業生のますますの活躍を期待されました。

卒業生を代表して、徳島キャンパスでは恵美須孝平(短期大学部生活科学科食物専攻)さんが「これからは、それぞれの進む道で問題に立ち向かうこととなりますが、柔軟な思考と粘り強さを忘れず、問題解決に向け進んでまいります。そして本学で培った『自立協同』の建学精神を糧に人々と協力し合い、より一層の努力をして社会に貢献していく所存です」と力強く決意を表し、また香川キャンパスでは吉永和未(文学部日本文学科)さんが「今後、学問の道に進む者、社会に出る者も明日から進む道において、『自立協同』の建学精神と徳島文理大学で学んだことの意義を噛みしめ、それぞれの分野でいかし、一人ひとりに託された使命を精一杯果たしてまいります」と答辞を述べました。式終了後には後輩から花束を受け取り別れを惜しむ姿や、友人らと記念撮影を撮る姿が見受けられました。

卒業生は徳島キャンパス・香川キャンパスあわせて1,025人。内訳は大学院22人、専攻科12人、大学893人、短期大学部98人。



徳島キャンパス



香川キャンパス

2017年度 優秀卒業論文・研究賞および優秀卒業演奏受賞者一覧

井藤 美浪(薬学部薬学科)	藤田 叶(保健福祉学部看護学科)	加藤 一馬(理工学部電子情報工学科)
江口 彩香(薬学部薬学科)	森田 倫加(保健福祉学部看護学科)	宇山 裕貴(理工学部ナノ物質工学科)
上田 耕士(薬学部薬学科)	安達 憲彦(保健福祉学部理学療法学科)	連天小百合(文学部日本文学科)
西馬 利奈(薬学部薬学科)	木村 遥(保健福祉学部臨床工学科)	石井 志保(文学部英語英米文化学科)
林 英里(薬学部薬学科)	多田 誠太(保健福祉学部診療放射線学科)	齋藤 麻綾(文学部文化財学科)
齊藤優花里(人間生活学部人間生活学科)	阿部 洗花(総合政策学部総合政策学科)	佐伯 知美(香川薬学部薬学科)
久米 紗生(人間生活学部児童学科)	櫻井 寧々(総合政策学部総合政策学科)	吉田 尋那(香川薬学部薬学科)
井上 幸美(人間生活学部建築デザイン学科)	清 穂花(音楽学部音楽学科ピアノコース)	坪井 里奈(香川薬学部薬学科)
高坂 淳子(人間生活学部心理学科)	徳村由紀子(音楽学部音楽学科音楽療法コース)	中西 香奈(香川薬学部薬学科)
柚友 愛梨(保健福祉学部人間福祉学科)	常包 享嗣(理工学部機械創造工学科)	

2017年度 体育・文化功労賞受賞者

【体育部関係】

◆準硬式野球部

- 武田 北斗(人間生活学部児童学科)
- 宮城 隆作(保健福祉学部看護学科)
- 與那嶺 航(保健福祉学部看護学科)
- 本藤 勇人(保健福祉学部理学療法学科)
- 片山 瑞己(保健福祉学部理学療法学科)
- 大城 龍将(保健福祉学部理学療法学科)
- 堀 美咲季(保健福祉学部理学療法学科)
- 下原奈々美(保健福祉学部理学療法学科)
- 新名 真子(人間生活学部児童学科)
- 板東 美奈(人間生活学部児童学科)

◆弓道部

- 花崎 広忠(人間生活学部心理学科)
- 堀江 知世(人間生活学部児童学科)
- 前田 有希(保健福祉学部看護学科)

◆陸上部

- 能瀬 亜紀(人間生活学部食物栄養学科)

◆軟式野球部

- 黒見 祥平(人間生活学部児童学科)

【文化部関係】

◆徳島文理大学連(阿波踊り)

- 横川 奈実(保健福祉学部看護学科)
- 春田 成美(短期大学部商科)

◆TOSAMONO(高知県人会よさこい)

- 寺内 慎(保健福祉学部理学療法学科)
- 石田 咲美(人間生活学部心理学科)
- 西山 夢月(人間生活学部食物栄養学科)
- 岡村 萌(人間生活学部児童学科)
- 西森 琴乃(音楽学部音楽学科電子楽器コース)

◆ニライカナイ(沖縄県人会エイサー団体)

- 新里 速(人間生活学部児童学科)
- 大城あゆり(人間生活学部食物栄養学科)
- 神谷 颯(人間生活学部児童学科)
- 又吉 姫香(保健福祉学部看護学科)
- 宮平 百菜(保健福祉学部看護学科)

◆人形浄瑠璃部

- 久保美早妃(人間生活学部食物栄養学科)
- 西崎 隆太(短期大学部商科)

◆和太鼓部「億」

- 宮地 栞(保健福祉学部理学療法学科)

穂崎 琴子(人間生活学部人間生活学科)

- 成相江莉佳(人間生活学部人間生活学科)
- 石川 結子(人間生活学部児童学科)

◆BBS部

- 高坂 淳子(人間生活学部心理学科)
- 藤沢 直美(人間生活学部心理学科)

◆山城祭実行委員会

- 北川 美里(人間生活学部食物栄養学科)
- 瀬戸丸はるな(人間生活学部食物栄養学科)
- 尾楠 直美(人間生活学部食物栄養学科)
- 尾楠 知美(人間生活学部食物栄養学科)
- 宇都宮由依子(人間生活学部食物栄養学科)
- 森北 雄大(人間生活学部児童学科)

◆音楽

- 清 穂花(音楽学部音楽学科ピアノコース)
- 中田白菜子(音楽学部音楽学科ピアノコース)
- 齋藤 綾香(音楽学部音楽学科管弦打楽器コース)

◆短期大学部

- 吉岡 千裕(短期大学部生活科学科食物専攻)
- 小川 竜平(短期大学部生活科学科食物専攻)
- 恵美須孝平(短期大学部生活科学科食物専攻)

特集 地域とつながる 徳島文理大学

吉野川市・阿南市と地域貢献に関する 包括連携協定を締結

2017(平成29)年12月21日(木)に吉野川市と、2018(平成30)年2月15日(木)には阿南市と本学との間に包括連携協定が締結されました。現在、地方自治体と大学との連携の重要性が、さまざまところで叫ばれています。

地方では今、著しい減少傾向にある若者がさらに都会へ流出していくという二重の課題に直面しています。人口流出問題の解決には、都会の魅力に打ち勝つ地方の魅力を見いだす必要があります。地域連携が単なるイベントのお手伝いではなく、若者が参加したくなるようなイベントにするにはどうすればよいか、企画力が問われます。自治体との連携や具体案は、学生の企画力を養成できるような内容であるということが大学にとって重要なポイントです。

大学生が卒業後に求められているのは、単なる知識ではなくその知識をいかす知恵です。これはまさに学生を育むという大学の目的そのものであり、吉野川市や阿南市との地域連携は絶好の機会となるでしょう。



吉野川市との包括連携協定調印式



阿南市との包括連携協定調印式

包括連携協定を締結した吉野川市にて 地域学アドバンストコースが開講

2018(平成30)年2月14日(水)・15日(木)、吉野川市で地域学アドバンストコースが開講されました。

埼玉県立大学 浅川泰宏先生の指導のもと、学生たちは14日に吉野川市の現状、食材などの視点からフィールドワークを行い、「遍路道で食べるのに適した吉野川市の特色を踏まえた弁当の提案」という課題に取り組みました。15日は3つのグループがそれぞれにまとめた提案を吉野川市職員や市民の方々の前で発表し、率直なご意見・ご感想をいただきました。

学生たちの若い視点からの提案は、さまざまな経験に裏付けされた吉野川市の方々からの意見などを参考に、さらにブラッシュアップを行う予定です。



フィールドワークの様子

大正大学と包括連携協定を締結

2018(平成30)年2月16日(金)、本学と学校法人大正大学(東京都豊島区)は「包括的連携に関する協定書」を締結しました。

大正大学で行われた調印式では、終始和やかな雰囲気の中で本学の村崎正人事長と大正大学の太田伸夫学長が協定書にサインしました。本協定の目的は、両大学が包括的な連携のもと、教育・研究・地域貢献などの分野において広く連携を図り、地方創生に資する人材育成と地域社会の発展に寄与することにあります。

今後は、両大学が協力して地方創生に取り組むとともに、活発な学生交流が期待されています。



大正大学との包括連携協定調印式

「第2回 とくしま学生ビジネスプラン道場」 にてグランプリを受賞

2018(平成30)年1月21日(日)、徳島グランヴィリオホテルにて「第2回 とくしま学生ビジネスプラン道場」最終審査会が開催されました。このコンテストは学生が起業につながるアイデアを競うもので、本学と徳島大学、四国大学から131プラン224人の応募があり、書類審査と2次審査を経て最終審査に残った6チームが発表を行いました。

審査の結果、若者の防災意識向上と徳島の活性化を目的として、おしゃれな防災グッズや徳島県の特産品を使った防災食を販売するビジネスプランを提案した「BUNRI 防災ネットワークプロジェクト」チームが、見事グランプリに輝きました。また、観客投票で決めるオーディエンス賞も受賞しました。

今後は興味をもっていただいた企業に協力をお願いし、メンバーが各学科で学んだ知識をいかして商品化をめざします。



◆グランプリ&オーディエンス賞
「BUNRI 防災ネットワークプロジェクト」チーム
橋本恵里(総合政策学科1年) 高橋彩夏(食物栄養学科1年)
眞摺ゆりの・南出和樹・沖誠人(建築デザイン学科1年)
小松光(建築デザイン学科2年)

◆グッドプラン賞
・長谷あさ鼓(総合政策学科1年)
・速藤望羽(総合政策学科1年)

「第7回 ICT(愛して)とくしま大賞」にて 「e-とくしま推進財団賞」を受賞

2017(平成29)年度の「第7回 ICT(愛して)とくしま大賞」にメディアデザイン学科から応募していた作品が「e-とくしま推進財団賞」を受賞しました。

この賞は徳島県在住の方が制作した、徳島の類いまれな自然・食・文化などの魅力を表現したデジタルコンテンツ作品の中で優秀作品を表彰するものです。

受賞作品は、徳島県美波町赤松地区で約100年前まで活動していた人形浄瑠璃座「赤松座」の復活プロジェクトを撮影したドキュメンタリー作品です。審査委員長の稲泉綾二先生(大阪国際大学大学院教授:専門 映像表現理論)から高評価をいただきました。

この作品「人形浄瑠璃座「赤松座」100年ぶりの復活」は、メディアデザイン学科の学生が制作したもので、下記URLからご覧いただけます。



受賞作品のワンシーン

受賞作品:「人形浄瑠璃座「赤松座」100年ぶりの復活」
<https://youtu.be/3js5GiNrnlg>

吉野川市美郷ほたる館にて廃校舎と旧診療所の リノベーションプランを提案

2018(平成30)年2月10日(土)、建築の知識や技術をいかして、建築デザイン学科の学生たちが地域の方々と交流を深める目的で行っている、リノベーションプランの提案を吉野川市美郷ほたる館にて行いました。



地元の方へリノベーションプランを提案

今回は1~3年生11人が考えた、①祭りなど地域の貴重な無形財産を保存するための「祭りに関する資料を展示できる施設」、②廃校舎を利用した「避難場所 兼 宿泊施設」などのプランを提案しました。集まった地域の方々との意見交換の場では多数の質問や意見が寄せられ、有意義な時間を過ごすことができました。今後はさらに話し合いを重ね、より良い施設を作るための提案をしたいと思っています。

これからもこのような取り組みをとおして、学生のスキルアップをすると同時に地域へ貢献できる活動を行っていきます。

食物栄養学科学生×茶茶家(チャチャハウス) 「レンコンのシャキっしゅ」を販売

「レンコンのシャキっしゅ」は「学生×食品開発プロジェクト」で「忙しいママの栄養補給」をコンセプトに考案した商品です。このプロジェクトは食物栄養学科2年生の3人と茶茶家が連携、制作しました。

このキッシュは黒ごまを練り込んだタルト生地に、徳島県特産のレンコンや、じゃがいも・ほうれん草・ベーコンといった具材を加えて焼きあげ、チーズと釜揚げしらすをのせて焼き、仕上げました。

発案からレシピ作り、単価計算や利益率まで自分たちで考えました。味はもちろんレンコンのシャキッとした食感をいかにするために試作を重ね、多くの方に助けていただきながら商品化することができました。

時間に追われて大変でしたが、とても貴重な体験ができ、将来を考える良い機会となりました。



◆開発メンバー

畠中杏菜・田村有紀・前田晏那(食物栄養学科2年)

「平賀源内生誕の地さめきのランタン上げ」を開催

2017(平成29)年11月25日(土)、理工学部の水野貴之准教授と森本滋郎准教授を中心に「平賀源内生誕の地さめきのランタン上げ」を開催しました。

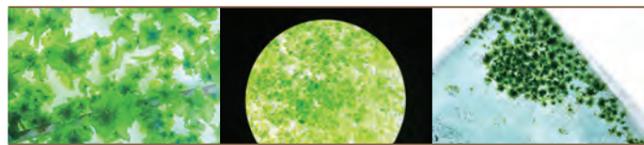
この取り組みは、さめき市の子どもたちに科学の面白さを伝える目的で平賀源内顕彰会・さめき市教育委員会と共同で行っている「平賀源内先生こども科学教室」の10周年記念行事です。

この記念行事には、計画段階から学生十数人が積極的に参加してくれました。会場はさめき市にご協力いただき、市役所隣接のグラウンドで実施しました。和紙で作製した高さ1.6mのランタンに灯油で火をともしと徐々に浮かび上がり、地上から約30mの高さまで上げることに成功しました。

今後、本行事が志度の伝統行事となり、さらなる地域貢献につながるよう連携を深めていきたいと考えています。



ランタンに火をともし空へ飛ばしました



平成 29 年度 文部科学省 私立大学研究ブランディング事業 選定

◎ 私立大学研究ブランディング事業がスタートします

大学の使命は、教育・研究・地域貢献の3つを行うことです。この3つが単独ではなく、有機的に行われます。このような機能を有する組織は大学以外にはありません。

本学は、学生と教職員の協働による研究に基づく教育から、教育を通じた研究を推進しています。その研究成果は、文部科学省科学研究費補助金獲得額と採択件数、Nature Index、Thomson Reuters の Essential Science Indicators および University Ranking by Academic Performance (URAP) などの研究力ランキングで高い位置にランクされており^{注1)}、「有力研究大学」の一角であると自負しております。

さらに2017(平成29)年度に本学が選定された私立大学研究ブランディング事業「藻類成長因子を用いた海藻栽培技術

イノベーション」は、研究の成果を地域産業の振興に貢献しようとするもので、まさに3つの使命を果たそうとする考えが具現化されたものです。

本事業は「私立大学研究ブランディング事業」のタイプA選定であり「特定の地域あるいは分野における、地域の資源活用、産業の振興・観光資源の発掘・文化の発展への寄与、企業や雇用の創出等を目的とし、学長のリーダーシップの下、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組」という趣旨に、内容的にふさわしいものであり、その学内推進体制も構築しています。

本事業の基礎研究は、今をさかのぼること13年前の Science 論文^{注2)}が起源です。この論文は、(株)海洋バイオテクノロジ研究所と本学薬学部の共同研究

で、アオサノリが単細胞から葉状体に変化・成長するためには、アオサノリに付着しているバクテリアが生産する藻類成長因子が必須であることを発表しました。そして藻類成長因子を同定して Thallusin (サルーシン; thallus = 葉状体に因む) と命名しました。その後、薬学部の山本准教授らはサルーシンを化学合成することに成功^{注3)}、安価に実用量のサルーシンを製造することが可能となりました。そして、サルーシンを添加した海水の水槽において、アオサノリを葉状体として増殖させることに成功しました。

このような成果をもとに、徳島県や香川県のアオサノリ・スジアオノリ養殖業を再生・復興しようとするもので、教育・研究活動が地域貢献へと発展した「大学発の事業」であります。

◎ 「藻類成長因子を用いた海藻栽培技術イノベーション」

2017(平成29)年度の私立大学研究ブランディング事業として、本学が申請した「藻類成長因子を用いた海藻栽培技術イノベーション」が採択されました。採択された60の事業(応募:188大学)は、さらにS・A・B・C・Dの5段階にランクづけされ、本学の事業はAランクと高い評価を得ました。

既に2017(平成29)年度の事業実施委員会(学長主催)が2回開催され、下表にあるように薬学部・香川薬学部・人間生活学部・理工学部・総合政策学部および生薬研究所から18の研究室がこの事業に参加することになりました。

本学の薬学部・香川薬学部・生薬研究所が保有する膨大な量の天然物由来の有効化合物を系統的に整理・保存してこの

研究に活用するため、天然物ライブラリーを作る準備をしています。さらに、藻類の成長に関わる新たな候補化合物を探索・研究するために、最新の質量分析器(スパイラル型MALDI-TOFMS)が私立大学研究設備整備費の補助を受けて導入されることになりました。藻類の栄養価などの付加価値を高め、ブランド化していくために人間生活学部・総合政策学部も参加します。

本事業は、地元の重要な産業である海藻養殖業に着目し、藻類成長因子の活用によるアオサノリの陸上養殖システムの開発という新技術を核に、地域水産業の抱える課題に対して具体的な解決策を提案し、それを実現することで社会に還元することをめざしています。本学の科学



アオサノリの陸上養殖に取り組む山本博文准教授(薬学部)

力を結集し、地域社会に貢献する大学としてのブランド価値を高めると同時に地域産業の復活と活性化に貢献できるよう、学生と教職員が一丸となって取り組んでまいります。

注1) 徳島文理大学の研究実績

本学は学生の研究活動への参加による能動的学習を推進しており、その結果として下記のような指標で示されるとおり、量および質の両面で、優れた研究成果を挙げている。

(a) 文部科学省科学研究費(科研費)補助金獲得額

全国私立大学の科研費獲得ランキングで、毎年70位前後にランクされている。2016(平成28)年度の科研費補助金額は、1億1,479万円で、全私立大学中72位、四国では1位、中四国では2位であった。

(b) 文部科学省科学研究費新規採択件数

次の専門分野(科研費細目)において、2016(平成28)年度に採択された件数が国公私立全大学中、ベスト10にランクインしている。

- ・「経済学説・経済思想」……………3位
- ・「動物生理・行動」……………7位
- ・「天然資源系薬学」……………6位
- ・「環境・衛生系薬学」……………4位

(c) Nature Index

英国の著名な学術雑誌 Nature は、世界の研究機関の研究力に関する、Nature Index という指標を毎年発表している。これは、Nature が選んだ一流の自然科学系雑誌に掲載された論文の著者の所属研究機

関に基づく研究機関のランキングである。本学は常にこのランキングで日本のトップ100付近に入っている。2016(平成28)年度のランキングでは、本学は全研究機関(大学・国公立研究所・民間企業研究所)中78位、全国の私立大学では15位、中四国・九州の私立大学では1位である。

(d) Thomson Reuters, Essential Science Indicators

アメリカの情報企業であるトムソン・ロイター社は、重要な研究論文(引用される頻度が高い)を出版している研究機関について Essential Science Indicators という指標を発表している。このデータベースに収録されている大学が研究大学とみなされている。四国の大学でこのデータベースに収録されている大学は、徳島文理大学と徳島大学、愛媛大学、高知大学、香川大学の5大学のみである。

(e) University Ranking by Academic Performance (URAP)

は研究論文に関する公知の事実に基づいて、高等教育機関(大

学等)の研究力を量(論文数)、質(被引用件数)、および国際性(国際共同研究)などの点から評価したランキングで、Middle East Technical University が発表している (<http://www.urapcenter.org/2017/index.php>)。URAP に取り上げられている大学は約2,500大学で、これは世界の全大学の上位10%にあたる。このランキングで、徳島文理大学は2010(平成22)~2017(平成29)年の8年間、日本の全大学(約780大学)中106~129位にランクされている。

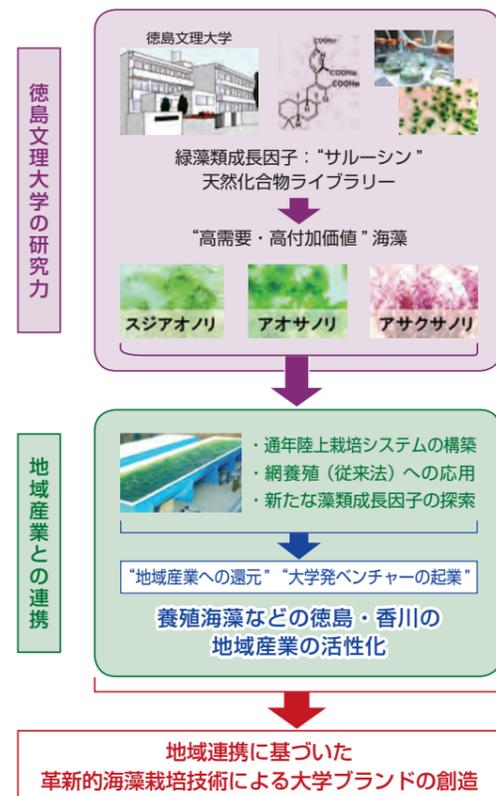
注2) Matsuo, Imagawa, Nishizawa & Shizuri, "Isolation of an Algal Morphogenesis Inducer from a Marine Bacterium," Science, 307, 1598 (2005)

注3) Yamamoto, Takagi, Oshiro, Mitsuyama, Sasaki, Yamasaki, Yamada, Kenmoku, Matsuo, Kasai & Imagawa, "Total Synthesis of (-)-Thallusin: Utilization of Enzymatic Hydrolysis Resolution," J. Org. Chem., 79, 8850-8855 (2014)



事業イメージ

藻類成長因子を用いた海藻栽培技術イノベーション



各学部・研究所等が取り組む研究項目

研究項目	参加する学部・研究所等
①アオサノリなどの緑藻の効率的で安定的な通年陸上栽培システムの開発	薬学部・生薬研究所・外部協力機関
②種付け網を用いた沿岸養殖(従来法)への応用	薬学部・理工学部
③新たな藻類成長因子の探索研究	薬学部・香川薬学部・生薬研究所
④藻類の栄養価など付加価値の拡大と流通・宣伝戦略の確立	薬学部・人間生活学部・総合政策学部

アオサノリ種苗の陸上養殖の概要

スキーム1 藻類成長因子の化学合成

写真1 アオサノリの無菌種苗

写真2 アオサノリ種苗の陸上養殖

これからの新卒採用と本学の就職支援

●うれしいニュースから

本学の2017(平成29)年3月卒業の公務員就職者数は190人で、週刊東洋経済四季報オンラインによると、全国約780校(国公立+私立の合計)の大学中78位にランクインしました。非常に喜ばしいことです。教職員の皆様のご支援、それにも増して学生の皆さんの努力の賜物です。今後も公務員を希望する学生の皆さんが全員合格できるように支援を続けてまいります。

●2018(平成30)年度就職活動スケジュールは2017(平成29)年度と同様ですが…

少しでも早く優秀な学生を採用したい企業と、就職活動が学業に支障をきたさないようにと考える大学。この両者の間で就職活動スケジュールは前倒し、後ろ倒しを繰り返してきました。しかし、この3年間は変わらず、2019(平成31)年3月卒業予定、いわゆる「19年卒」の学生の就職活動では、広報活動が3月から、選考活動が6月から、内定日が10月からとなっています。

「16年卒」からの就職活動においては、インターンシップや企業セミナーなどで3年次から学生に接触し、採用活動の一部とする企業も増え、その後「18年卒」の就職活動では、インターンシップはさらに急速に増えています。都市部では約3割の学生がインターンシップ(1dayも含む)に参加した企業から内定をいただいている状況です。したがって積極的にインターンシップに参加しないと大幅に出遅れてしまいます。

また、広報活動開始から選考開始までの期間が、過去最短の3カ月となり、エントリーから面接までの期間が大幅に短縮されています。このような「超短期決戦」の就職活動に臨むにあたっては、事前の準備やスケジュール管理が大切で、自己管理のできない学生にとってはさらに厳しい状況になります。

●エントリーシートや面接の質問も日々変化している

例えば「志望動機」「自己アピール」「趣味・特技」など定番の質問内容に加えて、応用力を問われる質問もされています。いろいろな対策を考えておかないと本番では、大変な失敗をすることになります。

質問の例:「自分の『トリセツ』を書いてください」2016(平成28)年西野カナさんの歌「トリセツ」に由来。「遊園地に設置するユニークな看板

を考えてください」「あなたのコミュニケーションの極意を教えてください」「あなたを採用しなかった際の当社のデメリットは何か?」「ピザ屋さんで働いていて、配達が遅れている。どうするか?」「桃太郎一行にもう一匹連れて行かなら何にしますか?」

出典:2016(平成28)年度8月
新卒採用・就職戦線総括

●学生の皆さんが乗り遅れないために

「18年卒」の就職活動を振り返ってみると、早くから準備を始めたことでいくつも内定を獲得した学生がいた反面、いつまでも内定をもらえない学生が増加し、いわゆる「二極化」が昨年よりもさらに進みました。

「内定をたくさん獲得した学生」と「内定をもらえない学生」とは人物的にも能力的にも大差はないように見えます。しかし「自己分析」や「エントリーシート」を早く準備してスタートダッシュをうまく切った学生と、のんびり構え準備不足となり、実力が発揮できなかった学生とは想像以上に大きな差がついています。しかも選考基準は後の試験になるほど厳しくなり、後になればなるほど内定をもらいにくくなっています。まさに「先手必勝」の状況です。

また、学生と企業との間に意識のずれがあります。大手就職活動サイト「リクルートキャリア」の調査によると、企業が採用基準で重視する項目として、「人柄」「自社への熱意」「今後の可能性」に続いて「適性検査」「専門性」「成績」があげられています。一方、学生がアピールしている項目は、「人柄」「アルバイト経験」「その企業への熱意」の順です。

要するに企業は「我が社のために何をしてくれるのか」を期待しているのに、学生は「〇〇な経験をしました」と胸を張っています。学生が自分の経験をどのように会社の利益に還元するかというところまで踏み込んで話せるかが内定の分かれ目になります。思い込みだけの就職活動ではなく、実情をしっかりと踏まえた対応が必要となります。

さらに、これまでは企業の採用選考において大学時代の自主的な活動や経験を重視し、学業成績には重きを置かない傾向にありましたが、最近は学びの重要性が再認識され始めています。学生の皆さんには、SPIなどの就職試験対策はもちろん、日常の「学業面」についても、今まで以上の努力が必要です。とて一歩遅くでも対応できるものではありません。このことを肝に銘じて就職活動へ

立ち向かってほしいと思います。

●本学の就職支援

「第一印象は会った瞬間に決まる」「見た目9割」などと言われる中、面接で好印象をもってもらうためにはやはりノウハウが必要です。本学には、経験豊富な教職員がたくさんいます。そういう指導者に頼るところは頼る、自分でやることは自分でやるというメリハリをつけることが大切になります。うまくスタートダッシュを切るために、まずは就職支援部を気軽に利用することから始めてください。

本学では、徳島キャンパスに10人、香川キャンパスに4人の正規職員が配属され、年間延べ約6,800件の相談をこなしています。教員・保育士をめざす学生には教員養成対策の正規職員4人が対応しています。また、必要に応じて商工会議所や地域支援センターなど行政のジョブサポーターも相談に応じるなど、本学の支援体制はきめ細かく充実したものになっています。

このような状況の中で、2018(平成30)年も学内合同企業説明会を3月3日(土)・4日(日)に338社の企業の方を迎え、盛大に開催しました。また、集団討論や適職診断などのセミナーを増やし、小規模や単独での学内企業説明会の取り組みも強化しています。

さらに、2018(平成30)年度の計画では、就職活動の現状を踏まえ、内容をより実践的なものへと見直しを図っています。また、本格的な就職支援の開始時期を大学3年生(短大1年生)当初からに早めています。

このように就職支援部では学生への支援を充実させることで、就職率や満足度の向上をめざしています。まずは就職支援部へ気軽に顔を出すことから始めてください。

【香川キャンパス 就職支援部】



徳島キャンパス 学内合同企業説明会



内定者 岡田 彩菜
(愛媛県済美高等学校出身)
【徳島キャンパス】
人間生活学部人間生活学科4年
徳島赤十字病院 内定

★就職内定先をめざしたきっかけ、その職種を選んだ理由を教えてください。

徳島赤十字病院は組織の規模が大きく、さまざまな部署で多様な経験をすることによって社会人として自分自身がより成長できるのではと思ったのがきっかけです。

★就職活動で苦労したことを教えてください。

履歴書やエントリーシートの作成、SPIの勉強を始めたのが遅かったので準備が試験直前となり、とても大変でした。

★教員や職員のサポートはいかがでしたか? エピソードがありましたら教えてください。

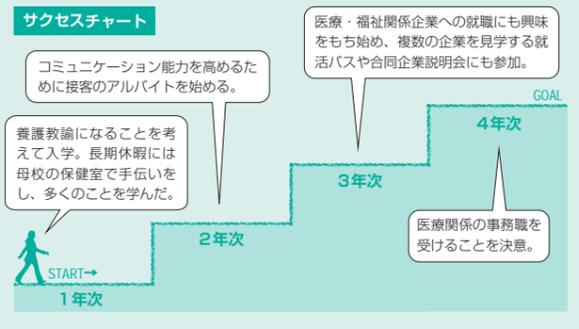
初めての就職活動で分からないこともありましたが、その度に親身になって丁寧に教えていただきました。

★社会人になってからの目標を教えてください。

まず、基本的な仕事内容をしっかりと身につけてさまざまな部署の方から多くのことを学び、着実に経験を積み重ねていきたいと思っています。

★後輩へ実体験をもとに就職活動のアドバイスをお願いします。

周りからの意見を参考にしつつも本当に自分がやりたいことは何かをしっかりと考え、最後まであきらめずに努力すれば結果がついてくると信じています。常に早めの準備・行動を心がけて就職活動がんばってください。



内定者 菅野 慶彦
(岡山県立高梁高等学校出身)
【香川キャンパス】
文学部文化財学科4年
吉備中央町役場 内定

★就職内定先をめざしたきっかけ、その職種を選んだ理由を教えてください。

帰省した時に、少年野球の指導をさせていただいたことがありました。その際に地元の方々の温かさに触れ、子どもたちの明るさに元気をもらいました。この経験で地元の良さを再発見することができ、将来は地元の方々の力になれる吉備中央町役場に就職したいと思いました。

★就職活動で苦労したことを教えてください。

岡山市など大きな自治体は試験情報が多いのですが、吉備中央町の情報は少なく、情報収集が大変でした。それと、私は公務員1本に絞っていたため試験に落ちたらどうなるのだろうかという不安が大きかったです。

★教員や職員のサポートはいかがでしたか? エピソードがありましたら教えてください。

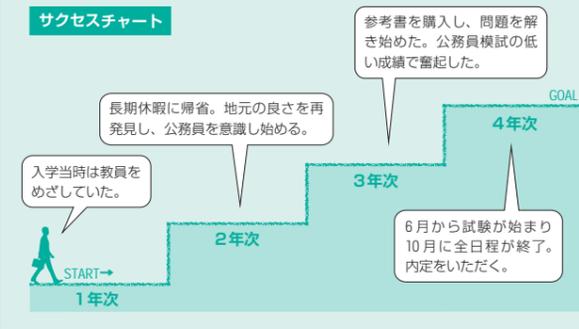
就職支援部の方々には志望動機の相談や模擬面接を行っていただきました。自分一人では分からなかったことを親身に相談のってくださり、とても助かりました。

★社会人になってからの目標を教えてください。

町民の方が安心して生活できる町づくり、そして吉備中央町の魅力を今以上に外部へ発信し、PRをしていきたいという2つの目標があります。文化財学科で学んだ情報発信能力や企画力を発揮し、これらの目標を達成していきたいです。

★後輩へ実体験をもとに就職活動のアドバイスをお願いします。

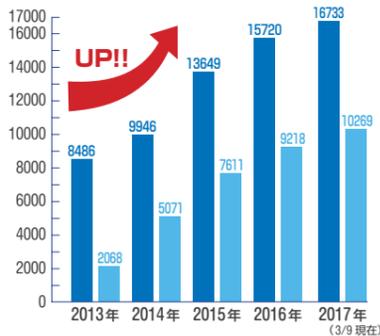
公務員試験を受験する人は、2年生後期には勉強に取りかかった方がいいと思います。そして、過去問題を何度も解くことが大事です。また、勉強する際には自宅ではなく大学の図書館などの静かな空間で行うことをお勧めします。



採用スケジュールの変遷



本学の求人企業数推移



徳島キャンパス 就職支援部



香川キャンパス 就職支援部

教員・保育士等採用試験結果報告 (2018年度採用)

公立学校教員・保育士等に114人が合格 (3月16日現在)

●本学の合格状況

2018(平成30)年度採用の教員・保育士等採用試験が7月上旬から12月末にかけて実施されました。本学では、114人(既卒者を含む)が地元をはじめ全国の公立学校・幼稚園・保育所に合格し、新任教員・保育士として採用されることとなりました。本年度の合格者の内訳は次のとおりです。

◆公立学校教員 87人

(内訳…小学校教諭50人/養護教諭17人/中学校教諭4人/高等学校教諭5人/特別支援学校教諭2人/栄養教諭4人/幼稚園教諭5人)

◆保育士 27人 (幼保採用を含む)

●全国的採用状況

— 人物重視の傾向顕著に —

近年の採用状況については、少子化が進み、学級数・学校数が減少の一途をたどっているものの、大量採用世代の退職時期と国・自治体の施策による多様な教育・保育ニーズに対応するための教員などの増加が重なり、採用数は増加の傾向が見られます。この状況はあと数年は続くと考えられます。

2018(平成30)年度の公立学校教員採用試験では、受験者総数159,294人で前年度から3.7%(6,108人)減少しました。2018(平成30)年度の最終合格者数と最終選考倍率は次のとおりです。



教員・幼保採用試験対策セミナー



教員・幼保等採用試験体験発表会



教員採用対策面接練習

◆2018年度 公立学校教員採用状況

- ・最終合格者数は34,939人で、前年度から942人増加。
- ・最終選考平均倍率は4.6倍(前年度4.9倍)。
- ・2次選考受験者は68,394人で、前年度から1,313人増加。
- ・非公表を除く49自治体の新卒受験者の平均合格倍率は3.6倍(前年度3.9倍)。(2017(平成29)年11月13日(月)発行号「教育新聞」付録 教員採用ジャーナルより)
- 10年ほど前に比べて合格倍率は低くなったとはいえ、現役で合格するには早い段階からの準備と最後までがんばりぬく強い意志が必要です。

採用試験は学力検査のほかに、面接(個人・集団)や集団討論・場面指導・模擬授業・論文・実技などがあります。最近では、各自自治体とも人物重視の方針を打ち出しており、面接や模擬授業が重視される傾向にあります。

学生の皆さんは、大学での演習や教育実習、ボランティア活動などの経験をとおし、実践力を磨く必要があります。また、各自自治体の教育振興計画などをチェックし、教育方針を理解して受験に臨むことが求められます。

●本学の採用試験対策支援

— 基礎・基本の重視と教職実践力の充実 —
徳島キャンパスでは全学共通教育セン

ターで、教職実践力を高めるための研修会や面接講座を含む各種対策講座を実施しています。また、年間数回の教員・幼保模擬試験を実施しています。その他、教員・保育士等採用試験とその受験対策などに関するさまざまな情報を提供しています。また、個別の相談も受け付けていますので、しっかり活用してください。

香川キャンパスでは、全学共通教育センターと就職支援部連携のもと、教員採用試験の出願に向けての情報提供や個別相談会、採用試験対策ガイダンスの実施、合格に向けての学力・実践力養成を目的とした教職教養講座や教員採用模擬試験などを実施しています。

●終わりに

本学からは今春、114人の卒業生が公立学校教員・公立保育所保育士として働くこととなります。私立の学校・幼稚園・保育所で働く人や臨時任用の人を含めると、さらに多くの教員・保育士が誕生します。大学で学んだことをいかして、未来を生きる子どもたちを支えるために、生涯にわたって学び続ける教員・保育士として活躍されることを期待します。

徳島キャンパス
【全学共通教育センター】
香川キャンパス
【全学共通教育センター/就職支援部】



徳島キャンパス

徳島キャンパスでは、採用試験や資格試験を受けるために講座を受講する学生、学力充実のために受講する学生など、たくさんの学生が講座やセミナーを利用しています。

☆さまざまな対策講座を実施しています!

学力充実対策講座 数学、数学上級講座、数学初級・中級講座、化学、生物、物理、地学、地理、日本語表現・文章理解、論文講座、日本語検定講座、漢字検定講座、簿記、パソコン教室、音楽教室 など

教員養成対策講座 一般教養・教職教養講座、教育時事講座、小学校全科講座、養護教諭専門講座、幼保専門講座、栄養教諭専門講座、中高専門講座(家庭)、論文講座、面接講座、実技対策講座、教員・幼保2次試験対策(面接・模擬授業・場面指導)、教員・幼保レベルアップ講座 など

公務員試験対策講座

教養試験(基礎能力試験)対策
【前期】一般知識分野(自然科学・人文科学・社会科学)
【後期】一般知能分野(判断推理・数的推理・文章理解・資料解釈)

☆教員採用試験対策の各種セミナーも開催!

外部から講師を招き、教員採用試験を受ける学生のためのセミナーもたくさん開講しています。教員採用試験を受けるために準備しておかなければならないこと、面接で注意すべきこと、最近の教員採用試験の出題傾向など、多くの情報を得ることができます。



かなえるチカラ 全学共通教育センターの取り組みについて



香川キャンパス

香川キャンパスでは、特に理系学生にとって重要となる数学や物理等について、授業に関する質問をはじめ、学力充実のための指導や基礎講座を受けるなど、日々多くの学生が利用しています。

☆授業での質問や学習相談にいつでも応じます!

センター指導 物理・数学担当の専任教員が常駐しており、授業での質問や学習の相談にいつでも応じます。特に、高校時代に物理や数学を十分に履修していなかった学生や理系科目に不安をもつ学生に対し、細やかな個別指導を行っています。

学力充実指導 センターの指導とあわせて、すべての理系科目(物理・化学・生物・数学)と英語について、全学部の教員が連携して、授業の質問対応や学習指導にあたっています。

基礎講座 「物理基礎講座」・「数学基礎講座」・「薬学初年次講座」を実施しています。

教員採用試験対策講座 教職教養・教育時事・面接・模擬授業などの指導を行っています。

☆一般教養向上のための学習資料を配布しています!

一般教養を向上させるため、毎日、簡単な時事用語と漢字演習のプリントを配布しています。また、自習スペースとして全学共通教育センターを開放しています。

☆教員採用試験への対応

就職支援部との連携のもと、「教職教養講座」・「教員採用模擬試験」などを実施しています。

両キャンパス
共通

自ら進んで取り組む e (イー) 学び! e ラーニングシステムの活用

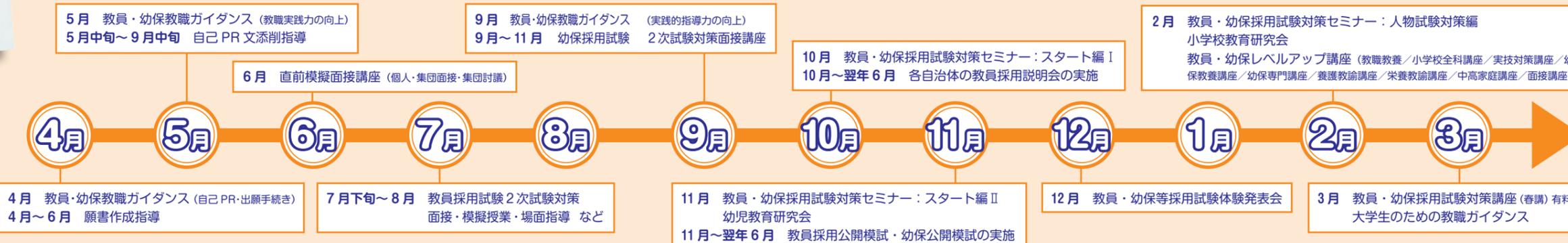
基礎学力充実のためeラーニングによる学習補助教材を導入しており、個別メニューで独自学習を効率的に行うことができます。学生は大学のパソコンが利用できる時間内であれば、好きな時間に無料で学ぶことができます。受講可能科目は中学・高校の「国語」・「数学」・「理科」・「社会」・「英語」です。

合格への道 年間の支援行事

教員養成対策講座

(適年：前後期実施)

- ◇教育時事講座
- ◇一般教養・教職教養講座
- ◇小学校全科講座
- ◇中高専門講座(家庭)
- ◇養護教諭専門講座
- ◇論文講座
- ◇幼保専門講座
- ◇面接講座
- ◇栄養教諭専門講座
- ◇実技対策講座





理工学部機械創造工学科

【連載】研究室への誘い

- 機械創造工学科 教授 武石 賢一郎 (専門：熱工学、航空宇宙工学)
- 機械創造工学科 4年 常包 享嗣 (香川県立飯山高校出身)
- システム制御工学専攻 1年 藤田 隼矢 (愛媛県立南宇和高校出身)

● 武石先生にお聞きします。機械創造工学科の学びのポイントを教えてください。

「社会の発展に貢献し、人を幸せにする“モノづくり”ができる人材を育成します。機械について何も知らない学生も1年生でギアポンプおよび2サイクルエンジンを分解し、それを測定してスケッチを描きます。その中の重要な部品は製図板やドラフターを使って図面を描きます。また、作動する“しくみ”を考え、学びます。旋盤など一通りのモノづくりの方法を学びますが、職人になるためではなく、将来機械を設計したり製作を依頼するための知識をつけるためです。機械創造工学科では、基礎科目・基盤科目・専門科目を流れに沿ったカリキュラムで学びます。授業の重要事項を演習で学び、さらに機械工学実験をとおして学ぶという“考える教育”を行っています。教員は先端技術を研究し、学生は研究指導を受け、研究心を育てます。機械創

造工学科の学科名に冠した“創造”する“考える力”を身につけます。

● 機械創造工学科にはどんな研究室(研究テーマなど)がありますか？

吉田憲一(副学長)研究室
材料内部で生じる変形、微視的破壊などによって発生する超音波(AE)信号により材料内部で生じている動的現象を解明。

武石賢一郎(学部長)研究室
強制対流伝熱、高速気流の研究実施。超高温ジェットエンジン、ロケットエンジンなどの最先端冷却技術の研究。

河合浩行(学科長)研究室
自律的、適応的なシステム制御技術および革新的コンピュータ機構、情報通信技術(ICT)の研究。

新関良樹 研究室
流体機械、翼列、ディフューザーなどの流体要素の高性能化、高負荷化に関して実験的・数値解析(CFD)的研究を実施。

樋口峰夫 研究室
機械のメカニズムに立脚した新しい駆動機構、ロボット、メカトロニクスへの応用など「スマートに動かす」技術を研究。

加治芳雄 研究室
統合型脳機能解析システムの開発。脳波を用いて機器の操作ができることを目標に福祉ロボットへの応用を研究。

● 学生さんたちの雰囲気はいかがですか？

学科の定員は1学年30人です。学科に属する7人の教員が丁寧に指導します。授業、演習、実験・実習を少人数のFace to Faceで行いますので、学生同士も

互いをよく理解しあえる環境ができ、自然と成長できます。工学は協力して物事を進める必要があるため、この環境は非常に重要です。各研究室では先輩が後輩を指導し、その一方で、協同で研究を行っていますので、規律ある中に和やかな雰囲気があります。また、最近では大学院に進学する学生が20%を越えています。

● 機械創造工学科への進学を希望されている方へメッセージをお願いします。

「社会の発展に貢献し、人を幸せにする“モノ”を作りたい！」と考える方はぜひ一度、オープンキャンパスの際に機械創造工学科をのぞいてみてください。“創造”の名を冠したあなたの希望をかなえる学科と出会えることでしょう。

● 続いて学生の皆さんにお聞きします。機械創造工学科に進学しようと思ったきっかけ、理由はなんですか？

常包: 高校時代から数学に興味があり、大学では数学を応用する勉強をしたいという思いから、機械創造工学科を選びました。また、世の中で使われている機械はどのようなしくみになっていて、設計されているのか興味がありました。

藤田: きっかけの一つはSF映画で、主人公が目的のモノのために図面を描いたり、必要な材料をそろえたり、またそれを加工

して組み立てたりする工程の一つひとつがとても合理的で楽しそうだったことです。もう一つは、パソコンの中でデータをさわるだけでなく、機械で加工するなど現実のモノに触れて、さまざまな現象を実際に体験することが好きだからです。

● 現在所属している研究室を選んだきっかけ、理由を教えてください。

常包: 武石先生の流体力学や熱力学の講義を受けたときに、流体や熱の現象を数学的分野、または物理的分野で考えることに興味をもち、もっと学び研究をしたいと思ったからです。

藤田: もともと飛行機などの航空宇宙分野に興味があり、武石研究室では流体力学や熱力学など航空宇宙に関する研究を行っていたのでこの研究室を選びました。また、「流体をMRIで測定する」という今までにないアプローチを行っていた点も魅力的でした。

● 現在の研究室でどのような勉強・活動をされていますか。

常包: 「ジェットエンジンのタービン翼の内部冷却であるインピンジメント(衝突噴流)冷却*」について研究をしています。前期は先生から教えていただいたことや論文を参考に実験装置を設計し、後期で実験を行いました。実際に自分で設計し、実験

を行うのは難しく大変なこともありましたが、同じ研究室の仲間と励ましあい、協力することで乗り越えることができました。この経験はかけがえのないものです。

*航空機などの推進力として用いられるジェットエンジンは燃焼により生成された高温ガスで回転運動エネルギーおよび推力を得ます。燃焼ガスにより高温になったタービン翼を熱から守るための冷却技術の研究です。

藤田: 「ジェットエンジンのタービン翼のフィルム冷却技術」について研究しています。機械分野なので、実験装置を実際に作って実験データを取ります。そのため、まず関連する論文を読んで、実験の企画を立ててから必要なものをそろえて実験します。実験に使用するさまざまな機器は、普段の生活では存在しない現象や状態を作り出すので、そこが一番面白いと思います。

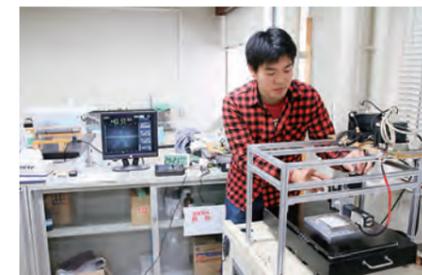
● これからの目標、将来の夢を教えてください。

常包: 大学院へ進学後は今まで以上に研究し、自分の知らない分野に挑戦していきたいと考えています。将来は研究室で学んだことをいかせる仕事に就きたいと思っています。

藤田: 関西方面で就職を考えています。現在行っている流体力学に関連した分野でこれまでになかった新しいモノを研究・開発したいです。



フィルム冷却の風洞試験



0.1マイクロメートル精度の超精密測定



総合大学だからできる保健福祉学部との協同研究(MRIを用いた3次元冷却流路の流速分布測定)

アカンサス会だより



尾道の旅・西國寺のこと

アカンサス会会長 高橋倫子

昨年の秋、尾道へのバスツアーが企画され、学生・OB・OG・教職員の方々とともに私も参加いたしました。

尾道は坂とお寺の町と聞きました。立ち並ぶ伽藍の中に、美しい三重の塔が見えます。ここがめざす西國寺です。道中の西条や千光寺、文学のこみちなどを割愛して、西國寺を特に取り上げたのは、ぜひとも会員の皆さまに知っていただきたいことがあるからです。

西國寺は天平時代に開山、開祖は行基（伝）、国の重要文化財7点と県の重要文化財1点を擁する名刹です。この寺に伝わる約2万点にのぼる膨大な文化財の整理研究を手掛けているのが、文学部文化財学科の学生と教員の皆さんです。文学部部長・濱田宣先生のご指導のもと、2000（平成12）年から営々と研究が続けられています。2011（平成23）年と2013（平成25）年の2回、研究成果をまとめて、牟礼町（現：高松市）石の民俗資料館にて展示しました。ほとんどが初公開の貴重な資料で、新聞などにも取り上げられました。展示・公開に関わった学生は学芸員資格取得希望者とのことでした。

濱田先生のお話の中で「あまりにも文化財の数が多く、またあまりにも貴重なため、研究はまだ続く。いつ果てるともれないほどだ」とおっしゃったのが強く心に残りました。一般には公開しない場所も入らせていただき、貴重な資料の数々を見せていただきました。素人の私にはもったいなくて申し訳ないようなひと時でした。

大学には数々の使命があります。学生がより良き人生を歩むための自己研鑽の場であることはもちろんですが、地域社会への貢献もまた大切な役割といえるでしょう。文化財を調査・研究・整理し、世に残すこと、そして自己への糧となす。私はこのたゆまぬ探求の心を本当に尊いものと感じました。このような研究は、他の大学・学部でも行われているのですが、こうして目の前の資料を見て指導教員から話を聞くと、その思いはさらに深まります。

この日、尾道は秋祭りの最終日。人々の熱気が町はむせ返るようでした。その喧騒とともに西國寺に満ち満ちていた秋の日の静謐は、私にとって忘れがたい風景となりました。

アカンサス会は、徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部卒業の同窓生で、会員相互の親睦をはかるとともに卒業生と母校との連絡を密にし、母校の発展を期することを目的とした同窓会の名称であり1967（昭和42）年に設立されました。本会ではこの目的を達成するために、親睦会・講演会・講習会の開催などの事業を行っています。また、2009（平成21）年に徳島県支部・香川県支部、2011（平成23）年に沖縄県支部を設立し、2017（平成29）年には高知県支部も発足しました。各支部とも各県出身者を中心にそれぞれ活動を行っています。

さらに、毎年4月にアカンサス会会員の皆さまに『徳島文理大学通信アカンサス』をお送りし、現在の大学の状況をお知らせしています。また、今後のアカンサス会活動につきまして、皆さまのご意見をお待ち申し上げております。

アカンサス会事務局

〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示 180
徳島キャンパス アカンサス会事務局
TEL・FAX：088-602-8726（直）（平日10:00～15:30）
E-mail：acanthus@tks.bunri-u.ac.jp
※氏名・住所など変更の場合は必ずご連絡ください。

役員会

アカンサス会役員会を2017（平成29）年7月15日（土）に開催し、役員改選を行いました。2018（平成30）年度役員は以下に決定・承認しました。

- 【会長】** 高橋倫子
- 【副会長】** 石川慎也・堤美代子・井内 準・平 哲也・内永健太郎・藤井直樹・松下純子・榎内光子
- 【理事】** 大久保純子・鈴木久美子・原 幸子・小川嘉弘・長江優太・福田 恵・松浦紀子・野田由美子・河野美代・大城泰博
- 【幹事】** 平野享子・長尾久美子・中路裕子・高田真弓・清久加代子・石川弥加・宗野真和・岡山千賀子・廣瀬和美・上岡 愛・三宅 幸・森本滋郎・河野真由美・安藝誠二・元木 努・廣瀬勝盛・藤巻 晃・板東博士・井村幸子・福富史恵
- 【顧問】** 田村禎通・村崎正人・藤田義彦
- 【参与】** 後藤立夫・佐々木和昭・森山和則
- 【監査】** 早雲洋一・出口裕子
- 【徳島県支部長】** 河野 司 《同事務担当・幹事》 犬伏知子
- 【香川県支部長】** 今村幸太郎 《同事務担当・幹事》 遠藤真由美
- 【沖縄県支部長】** 小池伸彦 《同事務担当》 松下純子
- 【高知県支部長】** 中村達彦 《同事務担当》 長濱太造
- 【アカンサス会事務局・理事】** 入野恵子

《アカンサス会支部からのお知らせ》

■ 徳島県支部 徳島県支部長：河野 司

平素は徳島県支部の活動にご理解・ご支援をいただきありがとうございます。2017（平成29）年度支部総会では「災害に備えて」と題し、①バッククッキングについて～長尾久美子先生（短期大学部生活学科）、②災害グッズについて～岡山千賀子先生（人間生活学部児童学科）による研修会ならびに新入会員歓迎パーティーを開催しました。

また卒業後に会員の皆さまが大学に足を運んでくださるようにと、新企画として、①ドクター・ふじたのおもしろ理科実験～藤田義彦先生（人間生活学部人間生活学科）、②親子で夏休みの宿題を完成させよう～仁宇峯子先生（人間生活学部児童学科）、③ノルディックウォーキング～柳澤幸夫先生（保健福祉学部理学療法学科）を開催し、好評をいただきました。

久しぶりに大学に寄ってみませんか。皆さまのご参加とご意見・ご希望をお待ちしております。

■ 沖縄県支部 沖縄県支部長：小池伸彦

平素はアカンサス会沖縄県支部の活動にご理解・ご支援をいただきありがとうございます。さて、2017（平成29）年度の支部総会・懇親会は9月10日（日）に沖縄県名護市の「ホテルゆがふいんおきなわ」にて行われました。会の冒頭でご挨拶をいただいた学長（当時：副学長）の田村禎通先生をはじめ、多くの先生方のご臨席のもと滞りなく進行できましたこと、この場をお借りして深くお礼申し上げます。

2018（平成30）年度の支部総会は9月1日（土）に那覇市の「パシフィックホテル沖縄」にて予定しております。県出身の卒業生も1,000人を超え、さまざまな場で活躍されている現在、支部役員一同、卒業生と大学をつなぐ活動が盛んになるよう努めてまいりたいと思います。総会の場を通じて、少しでも多くの知恵を拝借できますよう沖縄県支部の会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

■ 香川県支部 香川県支部長：今村幸太郎

アカンサス会会員の皆さまへ、香川県支部より2017（平成29）年度の事業報告と2018（平成30）年度の予定をお知らせいたします。

まず、初の試みとして8月4日（金）に杏樹祭実行委員会のメンバーと一緒に瀬戸内海に沈むきれいな夕日を見ながらBBQを開催。食いしん坊の私でも彼らの食欲旺盛ぶりには感服いたしました。10月14日（土）・15日（日）の杏樹祭におきましては、OB 黒田氏によるマジックショー、車のチューニングショップ勤務OB 浮田氏によるレース車両の展示、同じくOBが店長を務める「山かつ」特製カツサンド販売と一昨年よりテント数を増やし、大好評のうちに終えることができました。そして、何より収穫が大きかったのは『大学通信アカンサス第83号』でも紹介しました「アカンサス会親睦旅行 in 広島」では、在学生との交流を深めることができたことです。

今年はBBQ大会・OBとしての杏樹祭参加はもちろんのこと、親睦旅行の行き先を関西方面とし、笑いと食を楽しむ予定です。私たちと一緒に楽しい思い出づくりをしませんか？

最後に、卒業生の方々に久しぶりに気の合う仲間と母校を訪問、同窓会を開催したいと考えていらっしゃる方がいましたら、喜んでお手伝いをいたしますので、アカンサス会事務局へご連絡ください。

■ 高知県支部 高知県支部長：中村達彦

この度、アカンサス会高知県支部の発足に伴い、支部長を拝命いたしました中村と申します。私は、1996（平成8）年に家政学部家政学専攻科児童学専攻を卒業いたしました。現在は高知県土佐市にあり高岡第一小学校の教諭として教壇に立っています。今の教員生活があるのは徳島文理大学のおかげだと感謝しております。アカンサス会の輪がより一層大きく広がるように活動してまいりますので徳島文理大学やアカンサス会事務局のみならず卒業生の皆さまにはご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

2017（平成29）年9月16日（土）に高知共済会館で高知県支部設立総会ならびに懇親会を開催しました。村崎正人理事長先生からご祝電をいただき、大学から後藤立夫先生、佐藤章先生、長濱太造先生、長崎恭子さまの出席のもと、高知県アカンサス会員多数が出席し、盛大に行われました。現在の母校の様子を動画で観て、懐かしい思い出を語り合い、出席者全員による自己紹介では母校の思い出や感謝の言葉、アカンサス会高知県支部への期待などのお話をいただき、会場全体が一気に活気づいて大盛況のうちに閉会しました。

2018（平成30）年度の支部総会は、8月18日（土）に高知市の高知会館で開催する予定です。多くの高知県支部の会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

2018（平成30）年度 各県支部総会などのご案内 皆さまのご参加をお待ちしております。

徳島県支部 6/9 [±] 10:00～（総会）・11:00～（研修会） 12:00～（新会員歓迎会） 会場：徳島キャンパス ポストホール（5号館）	香川県支部 6/2 [±] 13:00～（総会） 会場：香川キャンパス内【予定】	高知県支部 8/18 [±] 16:00～（総会）・17:00～（懇親会） 会場：高知会館 〒780-0870 高知県高知市本町5-6-42 TEL:088-823-7123	沖縄県支部 9/1 [±] 16:00～（総会）・17:00～（懇親会）【予定】 会場：パシフィックホテル沖縄 〒900-0036 沖縄県那覇市西3-6-1 TEL:098-868-5162
---	---	---	---

お問い合わせ先
徳島県・沖縄県・高知県支部
〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示 180
徳島キャンパス アカンサス会事務局
TEL・FAX：088-602-8726（直）（平日10:00～15:30）
E-mail：acanthus@tks.bunri-u.ac.jp

お問い合わせ先
香川県支部
〒769-2193 香川県さぬき市志度1314-1
香川キャンパス
TEL：087-899-7403（直）
E-mail：acanthus@kgw.bunri-u.ac.jp

詳しくはアカンサス会のホームページをご覧ください。 [URL] <http://www.bunri-u.ac.jp/acanthus/>

◆ 徳島県支部のイベント報告

子育て支援イベント

ドクター・ふじたの
おもしろい理科実験

当日は小・中学生27人が参加し、身近な物を利用して、pH測定や指紋採取など盛りだくさんの理科実験を行いました。参加者も実験結果から学び、考え、楽しい時間を過ごせたようです。理科実験の内容を夏休みの宿題として学校に提出した方が学校代表に選定されました。



親子で夏休みの宿題を
完成させよう (絵画)

自分が描きたい写真等を持参していただき、大学の美術の先生が絵を描くポイントの説明やサポートを行いました。ここで描いた絵が徳島市教育長賞を受賞し、そのほかにも多くの方が賞を受賞しました。



健康づくりイベント

ノルディックウォーキング

いつまでも健康でいるためには、足腰の鍛錬が必要です。そこでノルディックを利用したウォーキングを行いました。参加者からは「日ごろの運動不足が解消できた」、「全身の筋肉を利用した運動で全身筋肉痛になった」などの感想をいただきました。



◆ 香川県支部のイベント報告

杏樹祭実行委員会との
BBQ大会開催 (アカンサス会補助対象)

杏樹祭実行委員会メンバー22人と香川県支部の会員9人で東かがわ市ベッセルおおちにてBBQ大会を開催しました。在学生との楽しい時間を共有することができました。



杏樹祭 & アカンサス会香川県支部

杏樹祭でOBによるマジックショーやレース車両の展示、「山かつ」店長の特製カツサンド販売は大盛況でした。学生時代に戻った気分です2日間を楽しみました。



アカンサス会親睦旅行 in 広島

尾道水道・千光寺を横目に文学のこみち散策・ベッチャー祭りを満喫しました。在学生9人とともに食事をし、市内観光をした時間は貴重で昨年一番の思い出となりました。



◆ アカンサス会のイベント予定

今年度も盛りだくさんの
イベントを開催予定!

大相撲「田子ノ浦部屋」合宿

公開日程
6/16 土

アカンサス会
員およびオー
ブンキャンパ
ス参加者限定

公開日程
6/17 日

一般の方も観覧可
能(アカンサス会
員先行予約)

見学
無料

【場所】徳島文理大学 徳島キャンパス 体育館
※駐車場については、徳島文理小学校・中学校・高等
学校の運動場を予定しています。

● 2018 (平成 30) 年度 徳島県支部のイベント予定

7/31 火

ドクター・ふじたの
おもしろい理科実験

【時間】13時30分～16時30分
【場所】徳島文理大学

8/7 火

親子で夏休みの宿題を
完成させよう (絵画)

【場所】徳島文理大学

11/10 土

ノルディック
ウォーキング

【場所】徳島文理大学周辺

前回好評だった3イベントを今年も計画しております。徳島県支部会に入会の方(年会費1,000円)は、当日無料で参加できます。

● 2018 (平成 30) 年度 香川県支部のイベント予定

5/10 木

文学
石川慎也副会長
による講演会

8月
初旬
(予定)

在学生との
BBQ大会

10/13 土

10/14 日

杏樹祭での
イベント

11月
中旬
(予定)

アカンサス会
親睦旅行
in 関西

マジックショー・模擬店・レース車展示など

アカンサス会 支援金をいただいた方の氏名一覧

アカンサス会員 (敬称略)

あ 明石由美子	大久保純子	さ 坂根 洋子	為保 敏江	西山 澄恵	藤田 義彦
秋山 郁恵	大庭 洋恵	坂本 京平	つ 辻 厚巳	丹生 光子	藤巻 晃
い 石川 弥加	岡本 浩明	阪本 義晴	て 出口 裕子	の 野上 朋美	藤巻 純子
犬伏 知子	岡山千賀子	里見 直彦	と 床桜 郁子	野村 京子	ま 松下 純子
井村 幸子	小川 直子	し 七條 ちえ	な 永井 久江	ひ 平野 享子	み 三木 茂子
入野 恵子	尾崎 聡	芝原 勇	長尾久美子	廣瀬 和美	道上 紀子
う 上岡 愛	越智 京子	芝原 澄子	中根 徳人	廣瀬 勝盛	も 森 みずほ
え 榎内 光子	か 榎本 生子	芝原 誠	中野 優	廣瀬 孝子	や 山口 和枝
遠藤 知恵	片山こすえ	す 鈴木小百合	長濱 太造	広瀬真寿代	山田 慶子
遠藤真由美	く 鞍田 典昭	須山 瑞江	に 西野 千佳	ふ 福田 清	
お 大石 憲子	こ 郡 通子	た 高木 祐敦			

特別会員 (敬称略) ※

お 岡部 千鶴	く 黒澤 良輔	つ 津守 美鈴
か 亀井きみ江	こ 五反地由紀子	み 三橋謙一郎
河口 雅子	た 竹原 明美	も 森田 敏子
川端 恵子	田主 澄三	

アカンサス会員	62人
特別会員	11人
合計	73人

5万～9万	1人
1万～4万	76人
合計	77人

匿名 4人 (平成30年3月7日現在)

※卒業生でない本学の教職員で、同窓会に入会していただいた方や奨学金の趣旨に賛同し、支援金を寄付していただいた方。

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部保護者会は、本学の教育目標を達成するため大学と家庭との連携ならびに大学の充実発展を援助することを目的とし、在学生の全保護者を会員として組織されています。

主な行事として、年1回開催される役員総会では各学科から選出された委員の皆さまにご出席いただき、本年度の役員改選や予算および決算報告、事業内容についての審議が行われます。

また、毎年8月から9月に府県別で開催される支部総会では、大学の現状や取り組みについての報告、支部役員改選などが行われ、その後学業成績や大学での生活面、進路についてチューター・担任・学科教員などとの個別面談や、就職支援部の教員による就職相談などが行われます。2017(平成29)年度は15府県16会場で約1,000人の保護者の皆さまにご参加いただきました。2018(平成30)年度は右表のとおり開催予定です。詳細につきましては6月末ごろ、事務局より各ご家庭に案内状をお届けする予定です。なお、徳島支部会を徳島キャンパスで、香川支部会を香川キャンパスで開催して3年目になります。大学見学を兼ねて多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

保護者会を通じて保護者の皆さまから率直なご意見やご要望を伺い、大学と家庭を結び架け橋として、また会員相互のコミュニティの場としてさらなる充実発展を図っていききたいと考えています。



徳島支部会(アカサスホール)の様子

2018年度 保護者会支部総会 日程

支部	開催日時・会場
徳島	8月25日(土) 13:00～16:00 徳島文理大学 徳島キャンパス
大阪	8月25日(土) 13:00～16:00 大阪ガーデンパレス
香川	8月26日(日) 13:00～16:00 徳島文理大学 香川キャンパス
鹿児島	8月26日(日) 13:00～16:00 鹿児島東急 REI ホテル
東海	8月26日(日) 13:00～16:00 名古屋ガーデンパレス
和歌山	8月31日(金) 13:30～16:00 ホテルグランヴィア和歌山
愛媛	9月1日(土) 13:00～16:00 松山全日空ホテル(本館4F)
福岡	9月1日(土) 14:00～16:00 福岡ガーデンパレス
	9月1日(土) 13:30～16:30 パシフィックホテル沖縄
沖縄	9月2日(日) 13:30～16:30 ホテル ゆがふいんおきなわ
	9月3日(月) 13:30～16:30 東京第一ホテル オキナワグランメーラリゾート
兵庫	9月2日(日) 13:00～16:00 神戸三宮東急 REI ホテル
岡山	9月2日(日) 13:00～16:00 ピュアリティまきび
広島	9月6日(木) 13:20～16:30 シェラトングランドホテル広島
高知	9月8日(土) 13:00～16:00 高知会館
鳥取・島根	9月9日(日) 13:00～16:00 米子ワシントンホテルプラザ

2017(平成29)年度末 退職者一覧

◆大学

桐野 豊(学長・薬学部薬学科 教授)
武田 紘一(人間生活学部児童学科 教授)
津田 とみ(人間生活学部食物栄養学科 教授)
三村都與仁(人間生活学部心理学科 教授)
永山 績夫(人間生活学部人間生活学科 教授)
黒澤 良輔(人間生活学部心理学科 教授)
竹内 伸一(人間生活学部児童学科 教授)
川人 和代(人間生活学部人間生活学科 講師・徳島キャンパス(保健センター長))
浅野 千佳(人間生活学部食物栄養学科 助教)
佐野真由子(人間生活学部食物栄養学科 実験助手)
木村 昌雄(音楽学部音楽学科 准教授・入試広報部 副部長)
山川 和宣(薬学部薬学科 教授)
秋田 昌彦(薬学部薬学科 教授)
濱川 泰博(総合政策学部総合政策学科 教授)
高島 均(保健福祉学部臨床工学科 教授)
小嶋 裕(保健福祉学部理学療法学科 教授)
櫻井 進(保健福祉学部人間福祉学科 教授)

藤森 由子(保健福祉学部看護学科 講師)
西岡 幹人(保健福祉学部臨床工学科 講師)
阿部 晃直(文学部英語英米文化学科 教授)
多田 哲生(理工学部電子情報工学科 教授)
中山 幸子(香川薬学部薬学科 教授)
宋 時栄(香川薬学部薬学科 教授)
川幡 正俊(香川薬学部薬学科 講師)
宮武 陽子(地域連携センター 教授)
(平成30年2月28日付)

◆短期大学部

阿部 頼孝(商科 教授)
吉田顕太郎(保育科 准教授・入試広報部 副部長)
榎内 光子(保育科 准教授)
長谷川道雄(一般総合科目 准教授・徳島キャンパス(学生部 部長))
郷司 清子(生活科学科 講師)

◆事務職員

大久保慶一(香川・総務部 副部長兼学部事務グループ長)
田村 浩(徳島・総務部 副部長兼施設・用度グループ長)
中平 伸(徳島・総務部 施設・用度グループ 技術職員)
山田 厚子(徳島・総務部 施設・用度グループ 事務職員)
敷島 紀子(徳島・就職支援部 事務職員)
古田 澄恵(徳島・学生部 学生支援グループ 事務職員)
中路 裕子(徳島・総務部 学部事務グループ 事務職員)
高田 真弓(徳島・総務部 学部事務グループ 事務職員)
西野 貢(徳島・学生寮 寮長)
(平成30年4月30日付)
西野美智子(徳島・学生寮 寮監)
(平成30年4月30日付)
堀尾 雪乃(徳島・教務部 教務グループ 事務職員)
本田あゆみ(徳島・総務部 学部事務グループ 事務職員)

村崎学園紹介



学校法人村崎学園は、1895(明治28)年、創立者村崎サイの「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念のもと設立されました。その信念は建学精神「自立協同」としてその後の学園経営の基礎となり、またゆるぎない教育の目標として一貫して受け継がれてきています。

学園創立50周年にあたる1945(昭和20)年には、戦火によって総てを失い創立者もまた校舎と運命を共にいたしました。戦野から帰還した前理事長村崎凡人は、サイの意志を承け、学園の復興に精魂を傾け、幼稚園から大学院までを完成し、総合

学園として、独立心と国際性豊かな人材の育成に励みました。

その後、村崎正理事長は、社会の変化を踏まえた教育の充実を図り、大学において、徳島キャンパスに総合政策学部、香川キャンパスに理工学部・香川薬学部・両キャンパスにまたがる保健福祉学部を設置し、現在では大学・短期大学部合わせて9学部27学科、6大学院、3専攻科、そして5研究所、1相談室を有する文理融合の総合大学へと発展させました。

幼稚園・小学校・中学校・高等学校を擁した学

学園本部お問い合わせ

〒770-8560 徳島県徳島市寺島本町東1-8
TEL: 088-622-0097 FAX: 088-626-2998

園においては、幼稚園から大学院までの一貫教育体制が確立している中で幅広く教育の場を提供しています。優れた教職員と最新鋭の施設・設備の整った「安心」「安全」な教育環境のもと成長を継続して支援することにより社会の多様な要請に応える人材育成に力を注いでいます。

学園は建学精神を体し、それぞれの学校が自立して相互に連携している共同体です。先人の残した精神・教育・伝統のもと、今後とも幼稚園から大学院までの各校が協同し、私学教育発展のためさらなる進歩を続けてまいります。

■徳島文理大学附属幼稚園 — URL: <http://www.bunri-u.ac.jp/kindergarten/>

本幼稚園は、学園の建学精神である「自立協同」を基本的理念とし、具体的なものとして「健康・知性・徳性」の3つの基本的教育方針を掲げています。それに沿って子どもたちを育成し、徳島文理小学校・中学校・高等学校への教育に繋げています。

また、子どもたちが良い環境下で多くのことを経験すれば、子どもたちの能力は驚くほど伸びるものと考え、本園では望ましい環境づくりに全力を尽くしています。大学附属幼稚園としての利点を十分にいかし、充実した施設・設備と優秀な教員がそろう総合大学の協力体制のもと、質の高い保育をめざしています。

さらに、保護者のための育児講座・預かり保育など子育て支援にも力を注ぎ、幼児が家庭から離れて社会生活を開始する第一歩を、安全で安心して踏み出せるようサポートしています。今後とも学園の一貫教育の一翼を担う幼稚園としての責任を果たし続けてまいります。

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍2 TEL: 088-653-4941 FAX: 088-653-4948

■徳島文理小学校 — URL: <http://bunri-e.ed.jp/>

本小学校では、建学精神「自立協同」をもとに、校訓を「正しく強く美しく」と定め、知・情・意・体の調和のとれた国際性豊かな人材の育成をめざしています。

児童にとって、安全で学びやすく整備された施設・設備の中で、6年間で公立学校の7年間分の授業時数を確保し、本小学校独自のカリキュラムを編成して教育内容を充実しています。具体的には、低・中・高学年別の3つの図書室と学級文庫を利用した読書指導に力を入れ、毎日の日記指導等と合わせた「読む力・書く力」を身につけており、感想文や作文が全国的に高い評価を受けています。また、英語は開校以来、全学年で週2時間を教科として特設し、段階的・発展的に授業を展開しています。高学年では、そのうち1時間をネイティブスピーカーが指導し、将来使える英語の基礎を培っています。さらには、全校茶会や一味会(音楽・英語劇)、古典文学、百人一首、四字熟語・ことわざかるた等々に取り組み、日本の伝統文化にも慣れ親しんでいます。情操面においても、人を思いやる心・あいさつやマナー・感謝の心等を育てることに取り組んでいます。

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍68-10 TEL: 088-652-5567 FAX: 088-656-6805

■徳島文理中学校・高等学校 — URL: <http://bunri.ed.jp/>

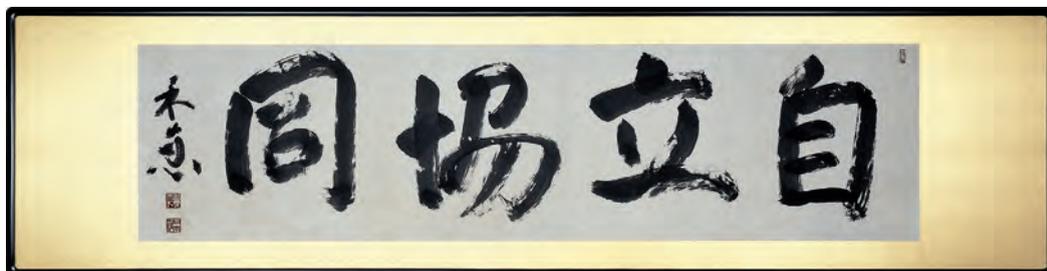
環境に優しい安心・安全な校舎、充実した施設・設備と本格的な日本庭園、広々とした運動場等、本校の教育環境は理想的なものとなっています。

難関大学・学部に対応した教材と先取り学習によって生じるゆとり、高い目標に向かって切磋琢磨する生徒集団と経験豊富な教職員の信頼関係が、東大38人・国公立大学医学部217人、徳島文理大学220人(過去10年間)に代表される顕著な合格実績を生んでいます。

中高一貫教育のゆとりの中で多彩な活動を積極的に推進しています。語学研修を実施しているシドニー郊外のナラビン校や北京師範大学第二附属中学との友好交流を積極的に推進しています。活躍する部活動を応援し、楽しい部活動も奨励しています。活気溢れる文化祭、クラス一丸となった体育祭や多彩な学校行事は、豊かな社会性を育む機会となっています。

各分野で活躍している卒業生と在校生が、お互いに照らし合い高め合いながら「自立協同」の建学精神を胸に「品位と知性」を行動規範として世界を舞台に、世のため、人のために貢献することを願っています。

〒770-8054 徳島県徳島市山城西4丁目20 TEL: 088-626-1225 FAX: 088-655-1699



徳島文理大学の建学精神

徳島文理大学の建学精神は、「自立協同」である。

この建学精神は、学祖村崎サイが明治28年（1895年）7月徳島に私立裁縫専修学校を設立した歴史に由来する。学祖は、「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念を持ち「女性の自立」を唱えて村崎学園を創立した。昭和20年（1945年）7月、学園は戦火に包まれ灰燼に帰し、村崎サイも学園と運命を共にした。その年の秋、戦野から帰還した村崎凡人前理事長は、学園の復興に精魂を傾け、総合学園の建設を目指した。その過程で、「他からの協力、他への協力をなくして、『人間の自立』はあり得ない。」との確信に至り、学祖村崎サイの精神を受け継ぎ、「村崎学園」の建学精神を「自立協同」としたものである。

この建学精神の意味するところは、成長してゆく人間として、「自立」は重要な到達目的であり、「協同」は「自立」を具現化する方法、とするものである。「協同」は「力を合わせて物事をする」とことで、個としての「自立」は、「協同」すなわち「他からの協力、他への協力」という体験の中で促される。「人」はその体験を通して人間的な成長を遂げる。学園における教養的教育、専門的学術・芸術探求の教育は、まさに「人間の自立」を促す「協同」の場であらねばならない。

爾来、学園はこのような歴史に基づいた「自立協同」の建学精神のもと、教育を推進し、幼、小、中、高、短大、大学併せて9学部27学科、6大学院、3専攻科、そして、5研究所、1相談室を有する総合学園として発展してきた。

今後とも建学精神のもと、ますます精進し、学術・芸術の探究を通して未来を創造する大学でありたいと願っている。

2018 オープンキャンパス日程

徳島キャンパス (11:00～16:00)

5月27日(日) ※AO・推薦入試説明会
6月16日(土)・7月15日(日)・8月2日(木)
8月3日(金)・8月19日(日)・9月23日(日)

香川キャンパス (11:00～15:30)

5月26日(土)・6月16日(土)・7月16日(月祝)
8月4日(土)・8月19日(日)・9月16日(日)

◆◆無料送迎バスのご予約は◆◆
お電話またはWebで

☎0120-60-2455

<http://www.bunri-u.ac.jp>

徳島キャンパス (徳島県徳島市山城町)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／人間生活学研究科(博士課程)／看護学研究科(博士課程)／総合政策学研究科(修士課程)
- 専 攻 科……人間生活学専攻科(児童学専攻・人間生活学専攻)／助産学専攻科／音楽専攻科(器楽専攻・声楽専攻)
- 薬 学 部……薬学科
- 人間生活学部……食物栄養学科／児童学科／心理学科／メディアデザイン学科／建築デザイン学科／人間生活学科
- 保健福祉学部……口腔保健学科／理学療法学科／看護学科／人間福祉学科
- 総合政策学部……総合政策学科
- 音 楽 学 部……音楽学科
- 短期大学部……商科／言語コミュニケーション学科／生活科学科／保育科／音楽科

香川キャンパス (香川県さぬき市志度)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／工学研究科(博士課程)／文学研究科(博士課程)
- 香川薬学部……薬学科
- 保健福祉学部……診療放射線学科／臨床工学科
- 理 工 学 部……ナノ物質工学科／機械創造工学科／電子情報工学科
- 文 学 部……文化財学科／日本文学科／英語英米文化学科

徳島文理大学ホームページ



<http://www.bunri-u.ac.jp>



校章の由来 …Acanthusとは、アカンサス属の一種、アカンサス・モルリスの葉で、別名ハアザミ。その刺は、事に当たって厳正、的確に処理する優れた知性を、その葉は古代ギリシャの美または芸術に通ずる豊かな情操を具象化し、本学の建学精神である「自立」を具現化した科学と芸術を示すものとして校章に制定されました。

※学生の学年は2017年度のものです。